

# TOTO 洗面器用洗髪機能付シングルレバー混合栓施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

### △注意

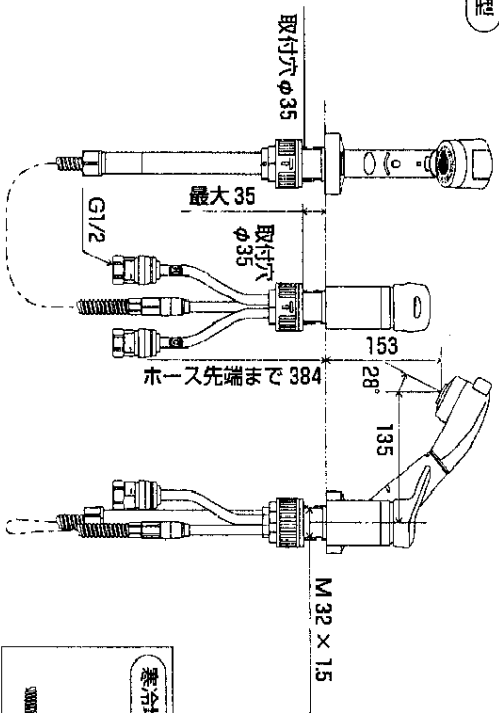
(1) 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

(2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
凍結破壊で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

TL384型



## 取付け前に

より簡単に施工していただくために、本商品は、クイックナットおよびホース接続ワッシャー（おまけ）ワッシャーを採用しています。

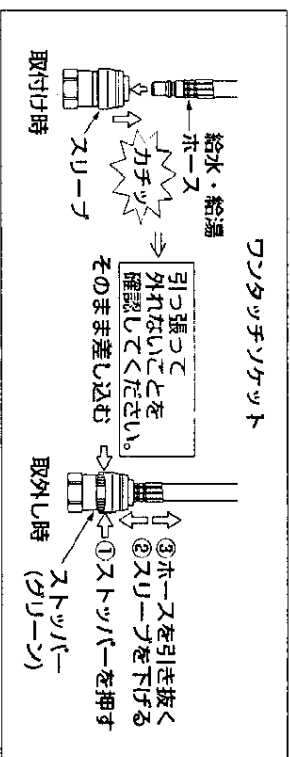
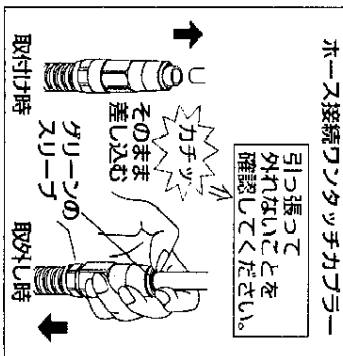
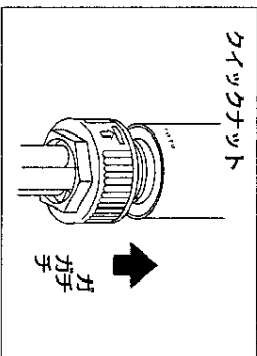
### 1. クイックナット

ナットは、回転させずに締付け方向に押し込むと、挿入できます。本固定時には、専用工具にて締付けてください。締めめる際は、一般のナットと同様に回して締めてください。

### 2. ホース接続ワッシャー

混合栓本体のホース接続管の脱着がワッシャーで可能です。接続の際はグリーンのスリーナ側を接続管に挿入しカチッと音がするまで押し込んでください。外す時は、グリーンのスリーナをひき下げてホース自体を下方に引っ張ってください。

3. ワッシャーワッシャー（一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし）給水・給湯ホースとワッシャーの脱着がワッシャーで可能です。接続の際は、ホースをワッシャーに挿入し、カチッと音がするまで押し込んでください。確実に接続されるとグリーンのスリーナが見えます。外す時はストッパーを左右から押し込みスリーナを下げてホースを引き抜いてください。



# 使用条件

# 器具の取付け

1. 使用水圧  
 (1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合  
 最低必要水圧… (下表参照)  
 給水水圧 } 最高水圧… 0.75 MPa

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
能力手動切替タイプ	12号	A+ 0.55
TOTOカスタム制御方式	10号・16号	0.12
	20号	
TOTOトリコン制御方式 (トリコン・コンパクト・アクテイ)	16号・20号	0.1
	24号	
	アクテイ	
TOTOハイトリコン制御方式	32号	0.09
	21号・24号	
TOTOコマンソ	16号 24号	0.09
TOTOハイコマンソ	21号・24号	0.06

- <設定条件>  
 ● リバーハンドルは全開  
 ● 吐水はソフト吐水  
 ● 吐水温度：38℃  
 ● 給湯配管長さ：5m  
 ● 給湯機が着火する下限の圧力とする。  
 ● 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定。  
 ● 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。  
 ● 比例制御タイプの出湯温度：60℃

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。  
 (比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

- ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。  
 (2) 貯湯式温水器と組み合わせる場合  
 給水・給湯水圧 } 最低必要水圧… 0.05 MPa  
 } 最高水圧… 0.75 MPa

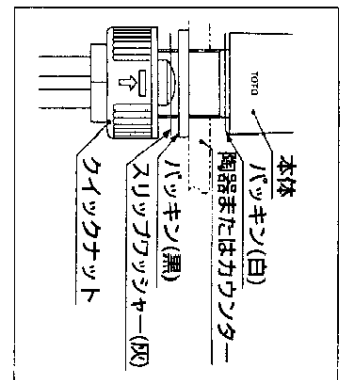
- (3) 給水・給湯水圧はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯温度  
 (1) 給湯に蒸気を使用しないでください。  
 (2) 給湯温度は最高85℃までお使いください。  
 (3) 電気温水器ご使用の際は、給湯温度を85℃以下に調節してください。  
 85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。  
 3. 湯・水を逆配管しないでください。  
 給水ホースには㊸ラベルを、給湯ホースには㊹ラベルを貼付けています。  
 なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。  
 4. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

1. 給水管内の清掃  
 器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

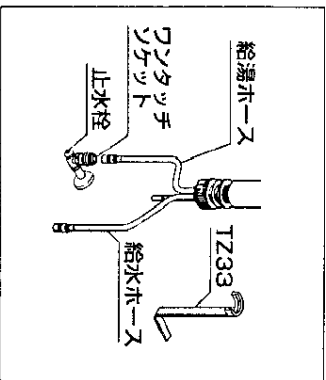
2. 本体の取付け

- (1) 混合栓本体が正面を向くように仮固定してください。  
 取付ナットはクイックナットですので上方に押し上げるだけで簡単に入りませす。  
 (2) フックナットを止水栓に本固定し、給水・給湯ホースをカチッと音がするまで差込んでください。



注) この時ホースを必要以上の方で曲げて折らないように注意してください。万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。

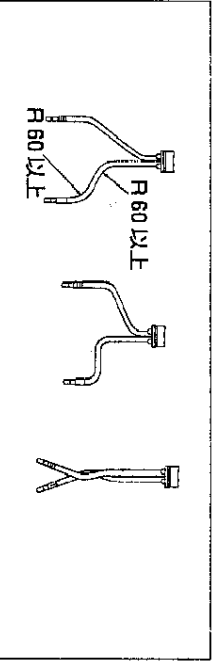
- (3) 混合栓本体を本固定してください。本固定には別売りの締付専用工具 (TZ33) を利用して確実に締付けてください。



注) 給水・給湯ホースのゆるみ防止のため給水・給湯配管は確実に固定してください。

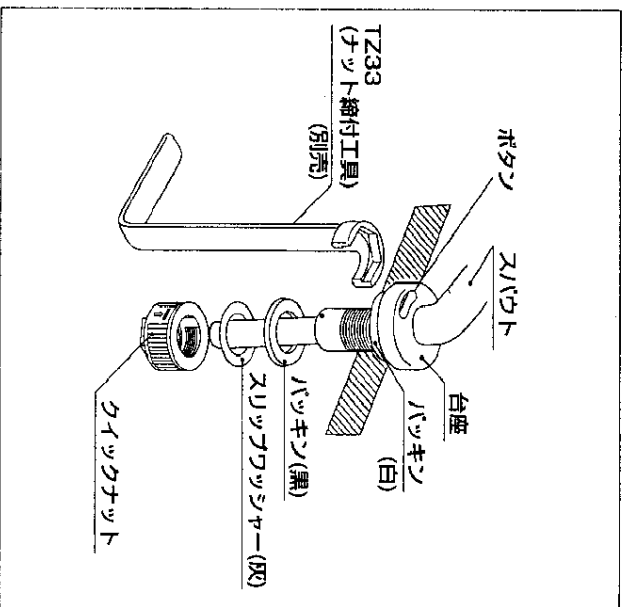
3. 給水・給湯ホースの施工上の注意点

- (1) ホースの折れにご注意下さい。  
 ホースを小さく曲げますとホースが折れることがあります。  
 万一折れた場合は指でつまんで元どおりにしてください。  
 (2) 本体端面より極端に屈曲して施工しないでください。  
 (3) ホース同士の不要な接触は避けてください。



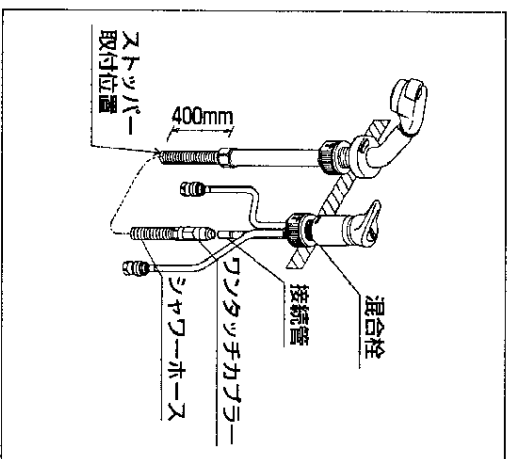
4. ハンドシャワー支持部の取付け

台座のグリーの押ボタンが正面になるように固定してください。取付ナットはクイックナットですので、上方へ押し上げるだけで簡単に入ります。本固定には、別売りの締付専用工具 (TZ33) を利用して確実に締付けてください。



5. ホースノットツパの取付け

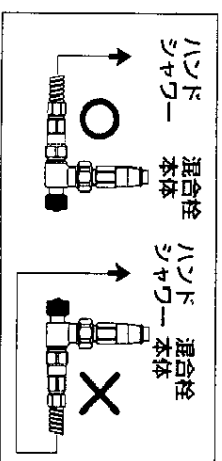
シャワーホースを引き出した時のストッパーを取りつめます。図の位置にストッパーをパチンとはめこんでください。ホースを引き出した時、ゆとりがない場合は適当にすらしてください。



6. ホースの取付け

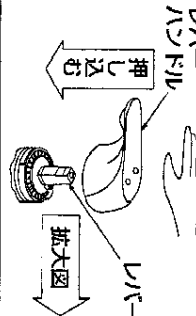
シャワーホースの先端のロンタッチカブラーを混合栓本体のホース接続管にカチッと音がするまで確実に挿入してください。

寒冷地の場合は、シャワーホースの水抜コックの取付け方向に注意してください。また、水抜コックにシャワーホースを繋いだ後、ロンタッチカブラーをホース接続管に挿入してください。



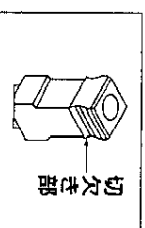
## レバーハンドルの取付要領

カチッと音がするまで押し込む



ご注意

このレバーハンドルは、ロンタッチで取付けることができます。



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。

正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。

万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押し込んでください。

最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

## 使用上の注意

この商品は、ウオーターハンダー低減機構を採用しております。

レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがありますが故障ではありません。

万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり開めてください。

# 寒冷地用水抜方法

# お手入れ

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜方法をご指導ください。

- (1)レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
- (2)ホース途中の水抜コックを開いてください。
- (3)スバウトを上引き上げ、ホース内の水を抜き、さらにハンドシャワーを振って中の水を抜いてください。

器具がいつまでも美しさを保つように、又快速にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかい布でふいてください。
2. スムーズな昇降動作を行うために、定期的に支持管を柔らかい布でふいてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。又支柱部に油、オイル等は絶対につけないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしオイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにオイル及び器具を十分水洗いすること。

# 分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

寒冷地用  
水抜コック

ハンドシャワー  
パッキン  
内筒  
散水板  
座金  
スバウト  
レバーハンドル  
カートリッジ押え  
パッキン  
カートリッジ  
パッキン  
リッジ  
バネ  
支持管  
9. 組み立てられているか  
8. 奥まで差し込まれているか  
7. 止水栓は全開されているか

1. 止水栓は全開されているか。

2. こみつきまわりはないか

3. 傷、ごみかみはないか

4. 方向はあっているか

5. 十分に締付けたか

6. 外れていないか

7. カチカチ音が出るか  
差込んでいるか

(別売)  
締付専用工具  
(TZ38)

故障とその点検箇所	点検項目
現 象	
吐水量が少ない。	1. 2
水が止まらない。	3. 4. 5. 6
吐水温度不良。	1. 2
ハンドルがカタつく。	7
通水時、床がぬれる。	8
昇降がスムーズでない。	9

## ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

## 点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込むこと。その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。

